

(3) グループウェア（ミライム）による校内および学校間の情報の共有化と事務の効率化

ア グループウェア導入までの経過

METSS(メッツ)メールでは市教委や各学校間との事務連絡はできるが、校内や各学校の個人宛の連絡をとるには不便である。そこで、さらなる校務の情報化を推進するために、平成18年度にグループウェアの導入を決定した。しかし、当時あったのは企業向けのグループウェアやその学校向けの改良版であり、学校現場では使い勝手のよいものではなく、導入した他県でも活用がなかなか進んでいない状況であった。このような状況の中、松山市小中学校情報教育委員会が中心となり、自分たちで活用しやすいものをつくることにした。

平成18年度3学期に市内を数ブロックに分けてグループウェアの操作研修会を行い、試験導入を開始した。平成19年度は校内のネットワークを活用した試験導入とともに、市内のネットワークを活用する2次開発を進めた。平成20年度6月に、市内5小学校にてネットワーク状態での試験導入を実施した。その後、10月に正式導入され、現在は市内全校で使えるまでに至っている。

イ グループウェア（ミライム）の主な機能

- ・校内行事予定連絡
- ・施設設備予約（パソコン室や特別教室、情報機器の使用予約）
- ・校内連絡（掲示板）
- ・市内小中学校教職員への個人宛メッセージ
- ・アンケート（校内、市内）

(4) 松山市小中学校情報教育委員会の活動

松山市小中学校情報教育委員会では教職員のICT活用指導力の向上のための活動と情報の共有化と事務の効率化に向けての活動を行っている。情報の共有化と事務の効率化に向けての活動では、市教委との定期的な連絡会をもち、インフラ整備、研修会、グループウェア開発について話し合いをしている。この話し合いで、学校に導入するPCの仕様や情報機器の検討、ネットワーク活用のための研修、学校現場で使いやすいグループウェアの開発が進んでおり、スムーズでかつ現場のニーズに合った校務の情報化ができています。

4 成果と今後の改善点・課題

(1) 成果

- ・グループウェアによる校内の情報の共有化と事務の効率化
- ・METSSおよびグループウェアによる学校間の情報の共有化と事務の効率化
- ・教職員ICTスキルアップ研修による教職員のICT活用指導力の向上
- ・グループウェア活用による職員打ち合わせ会等の削減
- ・情報教育委員会と市教委との連絡会による学校現場のニーズに合ったインフラ整備の実現

(2) 今後の改善点

- ・グループウェアの教務主任が活用する行事予定の取りこみや書き出し機能の改善
- ・グループウェアを利用したメッセージのメーリングリスト作成
- ・グループウェアを利用した主任会で活用できる掲示板の機能の作成

(3) 課題

- ・公私のけじめをつけたグループウェアの使用
- ・個人情報の管理

5 おわりに

松山市ではイントラネットによるネットワークインフラが早期にできたので、METSSによる市教委や各学校間との事務連絡や事務の効率化は進んでいる。これからはグループウェアが学校事務の基盤になることにより、METSSではできない校内の情報の共有化と事務の効率化、主任会や個人間の事務の効率化を進め、より連携しやすい環境を整えたい。